

## 一歩、一歩、未来へはばだけ



城南菱創高校



京都すばる高校



京都八幡高校



峰山高校

平成21年4月、京都府立城南菱創高等学校が開校しました。また、京都すばる、京都八幡、峰山高  
等学校の3校では、学科が新設、改編され、それぞれの学校で新たな歴史の一歩を踏み出しました。

### 府教育委員が府民の皆さんとグループで意見交換を実施!

”みんなで語ろう!「子どもの夢・未来」ミーティング”

南部会場	平成21年1月31日(土) 京都府総合教育センター(京都市伏見区)
北部会場	平成21年2月7日(土) 京都府総合教育センター北部研修所(綾部市川糸町)

府教育委員が府民の方々と意見を交換する、「みんなで語ろう!「子どもの夢・未来」ミーティング」を府内2会場で開催しました。当日は、教員やPTA関係者をはじめ、企業関係者、大学生、NPO等団体関係者など35名の方が意見交換に参加されたほか、傍聴には41名の方が来場され、活発な意見交換が行われました。「次代を担う子どもたちに願うこと」というテーマでは、子どもたちが自分の可能性に挑戦し、社会に対して持てる力を発揮しながら社会貢献できる人間になってほしいといった意見が出され、そのためには、学校だけでなく、家庭、地域が総がかりとなって教育に取り組むことが大切だという趣旨の意見が多く出されました。また、ミーティング終了後には、「大変、有意義であった。このような機会を更に充実させてほしい。」といった感想が多く寄せられました。

府教育委員会では、いただいたご意見を今後の施策に生かすとともに、今後、このような府民の方々の声を直接聞く、府民参画の取組をより一層充実させていくこととしていますので、多くの御参加をお願いします。



府民の教育に対する大きな関心と期待に応えるため、平成21年度当初予算では、子どもたちの学力の充実・向上、家庭・地域社会との連携などを施策の重点に据え、「京の子ども、夢・未来」プラン21」に基づく教育改革を着実に推進するための経費を計上しています。

平成21年度教育委員会の予算総額は2,030億1,582万円で、京都府の予算総額の約4分の1を占めています。

学力

1 学力の充実・向上～円滑なタテの接続～

(1) 学力パワーアップ総合対策の推進

●夏季集中学習「ふりスタ」推進費【新規】〔3,350万円〕

- ①中1振り返り集中学習～ふりスタ～の実施  
小学校段階の基礎基本を徹底する「中1振り返り集中学習」を実施します。
- ②チャレンジ学習の実施  
各種検定等へのチャレンジを通じて、学習意欲の向上を図る「チャレンジ学習」を実施します。
- 「ことばの力」育成プロジェクト推進費【新規】〔1,050万円〕  
小学校入学前から高校までを見通し、知識・技能を活用する力の育成に向けた「ことばの力」の向上を図るための学習プログラムを開発します。
- ①「ことばの力」育成プログラムの開発  
「ことばの力」の向上を図るための具体的な教材や指導方法などの学習プログラムを開発します。
- ②「親と子の言葉の架（しおり）」の作成  
コミュニケーションをはぐくむための保護者向け啓発資料を作成します。
- ③学校図書館の充実  
「学校図書館機能充実ガイドライン」、調べ学習に役立つ「テーマ別セレクトリスト」の作成など学校図書館の充実を図ります。
- 古典の日推進事業費【新規】〔100万円〕  
小中学生による古典作品などの朗読、暗唱大会を行うことにより、児童生徒が古典に親しみ、日本語の美しさを感じることで言語力の向上を図ります。

(2) 教員配置の充実

- 子どものための京都式少人数教育推進費〔80億938万円〕  
義務教育9年間を見通し、児童生徒や学校の実態に即して必要な教員を配置し、一人一人の児童生徒に確かな学力を定着させます。
- ①京の子ども・少人数教育推進費（拡充）  
小学校3年生～6年生において、30人程度の学級編制が可能となるよう教員配置を充実します。
- ②小学校低学年指導充実費（継続）  
小学校1・2年生で、2人の教員による指導が可能となるよう教員を配置します。
- ③全中学1年生英数少人数教育実施費（継続）  
中学校1年生における英語・数学の基礎学力の定着を図るため、30人を超える学級で、少人数教育の実施が可能となる教員を配置します。
- 新しい職の設置【新規】  
学校に副校長、主幹教諭及び指導教諭を配置し、教育課題に迅速かつ的確に対応できる学校組織体制を構築します。

学校・家庭・地域

2 家庭・地域社会との連携～ヨコの連携強化～

子どもたちに基本的な生活習慣を確立させ、学習習慣の定着を図るために、学校と家庭・地域社会が連携した取組を推進します。

夏季集中学習「ふりスタ（振り返りスタディ）」推進費

中1振り返り集中学習～ふりスタ～

**ねらい**  
中学1年生の早い段階に、基礎基本を徹底し、学習のつまずきの解消を図ります。

実施内容

- ・対象 府内の中学1年生  
★小学校の振り返り学習など基礎的・基本的な学習をしっかりと取り組みたい生徒
- ・実施教科 国語・数学等
- ・指導者 退職教員や学生等
- ・実施時期 夏季休業期間を中心に10日間程度

チャレンジ学習

**ねらい**  
各種検定試験の手法等を活用したチャレンジ学習を通じて学習意欲の向上を図ります。

実施内容

- ・対象 学習意欲の向上に取り組む府内の中学校
- ・実施時期 夏季・冬季・春季休業中等に実施
- ・実施内容 各種検定等にチャレンジするための集中学習を実施



※いずれの事業も詳しいことは各中学校にお問い合わせください。

「ことばの力」育成

●「ことばの力」育成プログラムを開発します!

育てたい言語力を焦点化し、学習指導プログラムを開発

**小1ようい・どんプログラム**  
小学校の学習をスムーズに始めるための「聞く力」「話す力」を育成  
(幼～小1・2)

**プレゼンテーション能力開発**  
調べて、考えたことを10分程度でプレゼンテーションできる力を育成  
(小3・4)

**文章表現スキルアップ**  
身近なことから題材を見つけ、800字程度の随筆が書ける力を育成  
(小5・6～中1)

**思考力・文章力スキルアップ**  
情報を集めて考えを練り、1,200字程度の小論文が書ける力を育成  
(中1・2)

**PISA型学力**  
各教科において、言語力をベースとした活用型学力を育成  
(高校)

# 委員会当初予算概要

- **学習習慣確立支援事業費(拡充) (5,748万円)**  
家庭での子どもたちの生活や学習習慣の確立などを支援する「まなびアドバイザー」の配置を中学校に拡充し、家庭や地域社会との連携を強化します。
- **地域で支える学校教育推進事業費【新規】 (3,100万円)**  
学習支援、運動部活動支援の実施など、地域ぐるみで学校を支える体制を整備することにより、学校教育の充実を図ります。
- **京のまなび教室推進事業費(継続) (5,000万円)**  
公民館や小学校などを子どもたちの安心・安全な居場所として活用し、放課後や土曜日などにおける体験活動、学習活動などの一層の充実を図ります。
- **親のための応援塾開催事業費(継続) (200万円)**  
小学校就学前の子どもを持つ親を対象に「応援塾」を開塾し、学校や地域と連携して支援することにより、家庭の教育力の一層の向上を図ります。

## 修学支援

### 3 高校への修学支援の充実

- **高等学校生徒通学費補助金(拡充) (750万円)**  
保護者のリストラなどによる家計急変など、経済的に厳しい状況にある世帯への通学費補助を拡充します。
- **高等学校緊急修学支援事業費【新規】 (1,000万円)**  
保護者のリストラなどにより家計が急変し、高校への修学が困難になった高校生に、臨時・緊急の修学支援金を給付します。

## 特別支援教育

### 4 特別支援教育の充実

- (1) **特別支援学校の新設**
  - **新設特別支援学校建設費 (28億4,152万円)**  
宇治・城陽地区(平成23年4月開校)、八幡・久御山地区(平成22年4月開校)に特別支援教育のセンター的機能を担う専門性の高い特別支援学校を新設します。

### (2) 特別支援学校高等部生徒の就労支援

- **就労支援事業費(継続) (930万円)**  
障害のある生徒の自立と社会参加を促進するため、職業教育の充実を図ります。

### (3) 相談機能の充実

- **地域等連携推進事業費(継続) (300万円)**  
地域の学校や医療、福祉、労働など関係機関と連携して、障害のある子どもや保護者などへの総合的なサポート体制を充実します。

## 安心・安全

### 5 安心・安全な学校づくり

- **府立学校耐震強化対策費(継続) (19億1,444万円)**  
子どもたちの安心・安全の確保に向け、校舎などの耐震補強工事を促進することにより、防災機能の一層の充実を図ります。
- **地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費(継続) (2,615万円)**  
保護者や地域と連携し、社会全体で子どもたちを守るという気運を広げ、子どもたちを見守る安全体制を整備します。



### 6 その他

- **府立高校「教育改革チャレンジプラン」支援事業費(継続) (8,579万円)**  
生徒一人一人の「確かな学力」の向上と希望進路の実現に向けて、府立高校が主体的に企画し教育改革を推進する取組を支援します。
- **職業教育充実事業費(拡充) (1,300万円)**  
高校生段階で将来を見通した勤労観・職業観をはぐくむ教育内容の充実を図ります。

## プロジェクト推進費

～小学校入学前から小学校、  
中学校、高校までを見直し、  
あらゆる教育活動の中で  
「ことばの力」を育成します～

### ● 学校図書館機能の充実を支援します!

「学校図書館機能充実ガイドライン」の作成  
学習情報センター機能充実のための蔵書構成、運営体制等のノウハウを伝授

調べ学習に役立つ「テーマ別図書リスト」の作成  
調べ学習に役立つ推薦図書をテーマ別にリスト化

### ● 家庭での言語力の育成を支援します!

親と子の言葉の菜(しおり)の作成・配布  
情感豊かなコミュニケーション力を育てるために、乳幼児期から身に付けさせたい語彙を心温まる親子の会話事例集として紹介

## 京都府高校生等修学支援事業

京都府では、経済的な理由で修学を断念することがないよう、高校生等への修学資金の貸与や給付、授業料免除などを実施しています。

### 高校生等修学資金貸与

- 高等学校などに在学の方、またはその保護者  
※ 保護者などが府内に在住していること、世帯または保護者の所得基準などの要件があります。
- 高等学校等修学資金(修学金・修学支度金)貸与制度  
受付:随時(申請日の翌月分からの貸与)  
ただし、平成21年度新入生で、4月分からの貸与希望者は5月15日(金)まで(既に貸与予定決定を受けている方は4月30日(木)まで)
- 修学支援特別融資利子補給制度  
受付:5月15日(金)まで(定員あり)
- 問い合わせ先  
在学の高等学校または府教育庁高校教育課奨学担当 ----- TEL 075-414-5856

### 高等学校緊急修学支援事業

- 問い合わせ先  
国立:府教育庁高校教育課振興担当 ----- TEL 075-414-5859  
私立:府文化環境部文教課小・中・高校担当 ----- TEL 075-414-4518

### 府立高等学校授業料減免

- 問い合わせ先  
在学の高等学校または府教育庁高校教育課調整担当 ----- TEL 075-414-5846

### 高等学校生徒通学費補助金

- 問い合わせ先  
公立:府教育庁高校教育課振興担当 ----- TEL 075-414-5859  
私立:府文化環境部文教課小・中・高校担当 ----- TEL 075-414-4518

制度の内容は、在学の高等学校に配付のパンフレットまたは京都府教育委員会のホームページでご覧いただけます。

人権  
じん けん

さまざまな人権問題についての教材をふんだんに取り入れた  
**人権学習資料集〈中学校編〉を作成しました!**



小学校(低学年・中学年・高学年用)編に引き続き中学生を対象にした人権学習資料集、指導の手引き、指導用資料(CD)を作成しました。各学校において人権学習に使用するほか、教職員の研修などにも活用していきます。  
平成21年度は、高等学校編を作成する予定です。

〈世界人権宣言〉

★絵カードと条文を結び付ける活動をととして宣言の内容を理解し、その大切さに気付きます。

〈ネット社会の人権〉

★携帯電話・インターネットによる人権侵害の問題をととして、人権の大切さを学びます。



地域で支える学校教育推進事業

従来、校長や教頭等が担っていた活動支援者との調整を、本事業で配置するコーディネーターが担い、登下校の見守り活動のほか学習支援等の無償ボランティアを派遣して、多くの学校教育活動を社会総がかりで支援する取組です。すべての小・中学校等で開設できるように支援します。

地域で支える学校教育推進事業の仕組み



シリーズ 文化財

平成20年度府選定文化的景観について

京都府選定文化的景観に、新たに「井手町大正池とその水源かん養林景観」、「綾部市グンゼの近代製糸産業景観」が加わりました。

井手町大正池とその水源かん養林景観

大正池は井手町東部山間地にある府内最大級の農業用ため池で、昭和28年の南山城水害を契機に旧二ノ谷池を改修して昭和35年に完成しました。玉川の水源、上井手地区の重要な灌漑用水源であるとともに、池の周囲はグリーンツーリズム用地として整備され、NPO団体の協力を得て現代的機能を加味した水源かん養林保全が図られています。府民の憩いの場としての活用も進められており、水害を乗り越えてきた井手町はじめ南山城地域の災害復興、農業用水源と集水域林地保全を象徴する良好な文化的景観となっています。



綾部市グンゼの近代製糸産業景観

綾部市青野町に所在するグンゼ株式会社本工場は、綾部市の近代化と発展を物語る町並みを今日に伝えています。明治29年この地に創業されたグンゼ株式会社は、生糸生産から日本有数の紡績会社へと発展しました。グンゼ博物館及びグンゼ記念館等大正期の建物を始めとする歴史的建造物群や、養蚕に欠かせない桑を国内外問わず収集栽培する桑苑は、整備された市道を挟んで配され、地域の歴史と文化を刻む良好な文化的景観となっています。



きょういく きた みなみ

食育は、学力の基盤

長岡京市立長岡第八小学校

文部科学省・京都府教育委員会から研究指定を受け、「自ら考え、自分らしく生かす子どもの育成」を研究主題に掲げ、食育の推進に努めています。

本校は、地域に支えられた学校で、学校園で育て収穫した野菜を使って「いもまつり」「友好祭」を毎年開催し、地域の方と一緒に食べながら、楽しい一日を過ごしています。



本年1月には、農林水産省が進める「食料自給率向上」に向けた国民運動推進事業の一環としての「FOOD ACTION NIPPON」の取組である「新聞ブログで学ぼう!地域の食文化」に参加しました。また、2月には「こども食料セッション」で、食料大使として提言書を農林水産大臣や官房長官に提出しました。

南丹地域の「教師力」をパワーアップ

南丹教育局

南丹教育局では、教員の大量退職時代を迎え、公教育推進に向けた積極性と学校経営参画意識を持ち、保護者・地域に信頼される高い資質を備えた、将来、中核となる教員の養成を目指し、平成19年度から「南丹教師力パワーアップセミナー」を開講しています。

平成19年度は33名、平成20年度は26名の教員が公募により参加し、それぞれ6回の研修会を受講しました。



研修会では、各回毎に受講生が作成した論文をもとに、班別による熱心な研究協議を繰り返し、切磋琢磨して、互いの「教師力」を高めました。

平成21年度も継続して実施し、更なる南丹地域の「教師力」パワーアップに努めます。

ご相談ください

京都府教育委員会では、子どもの心身の成長や発達、いじめ、不登校、また保護者の方の子育てやしつけなどの悩みについて、電話、来所、巡回及びメールによる教育相談を行っています。

電話教育相談 (24時間受付) ふれあい・すこやかテレフォン



■ 075-612-3268 又は 3301

京都府総合教育センター(伏見区)

■ 0773-43-0390

京都府総合教育センター北部研修所(綾部市)

来所・巡回教育相談

■ 月～金[祝日を除く] 上記の電話でお申し込みください。臨床心理士又は精神科医等が直接会ってお話をうかがいます。

メール教育相談

■ メールアドレス sukoyaka@kyoto-be.ne.jp

ネットいじめ通報サイト

ネット上でいじめを発見されたら通報して下さい。

■ パソコンからは <http://www.kyoto-be.ne.jp/gakkyou/netijime.htm>

■ 携帯電話からは <http://www.kyoto-be.ne.jp/gakkyou/knetijime.htm>

